

認定重症心身障害看護師からの声

NO2

私は、平成10年から長岡療育園で働きはじめ、足掛け16年間重症児（者）看護に携わっております。これまでは、園内外での研修や諸先輩方の指導から学び、対象者に対して、看護や療育を行ってきました。

今回、重症心身障害看護師研修会を受講し、認定を受けるにあたり、重症児（者）看護のいろはから学びなおし、看護実践の良かった所、今後の改善が必要な所が理解できました。

それを基に、園内で後輩への指導だけでなく、これから看護師を目指す学生に対しても、重症児（者）看護の魅力を伝えられるようになったと思います。

平成26年度認定（第4回） 長岡療育園 坂井 剛



平成26年度認定（第4回） 長岡療育園 中村政浩



私が、1年間の研修を通してまず思ったことは、「やっぱり重症児看護は、良いなあ」という思いです。研修は本当に大変で、正直何回も現実逃避しそうになりました。しかし、病棟に戻れば、重症児者の裏表のない笑顔やムスッとした顔、ほんのわずかな表情の変化、指先の小さな動き、そのひとつひとつに癒され、励まされながら研修を終えることが出来ました。

私は、魅力あふれる重症児者に携われていることが嬉しく、忙しい仕事の日であっても、毎日楽しく過ごせています。

今後、研修で得た知識や技術を基に、重症児者1人1人が少しでもより良い生活が送れるよう努力していきたいと思います。